

# 第4回通常総会

1989年6月23日(金)



人工知能学会

JAPANESE SOCIETY FOR ARTIFICIAL INTELLIGENCE

---

〒151 東京都渋谷区上原1-32-19 三善コーポ201号室

TEL.03-485-6641 FAX.03-485-6642

## 第4回通常総会次第

日 時 1989年6月23日(金) 15時～19時

場 所 青学会館会議室“穹蒼” / 会議室“大路”  
東京都渋谷区渋谷4-4-25 TEL.03-409-8181

総会次第 1. 特別講演：15時～16時<会議室“穹蒼”>

演 題 [高次コミュニケーション]

講 師 野口 正一氏(東北大学)

2. 通常総会：16時～17時<会議室“穹蒼”>

1) 開 会

2) 会長挨拶

3) 議長選出

4) 1988年度事業報告

5) 1988年度決算報告、監査報告

6) 1989年度事業計画

7) 1989年度予算

8) 会則改正

9) 1989年度役員構成

10) 1989年度評議員構成

11) 1988年度論文賞表彰

12) 閉 会

3. 懇親会：17時～19時<会議室“大路”>

# 1988年度事業報告(案)

## 1. 概要

学会設立3年目を迎え、前年度に引き続き理事会および各委員会を中心に学会の基盤強化を進めるとともに、第2回全国大会の開催、会誌の隔月発行による充実、研究会活動の本格的スタートに重点を置き、学会活動の活発化、会員サービスの充実をはかった。

7月21日から3日間にわたり学習院大学で開催した第2回全国大会は、前回は上回る論文発表に、ファイゲンバウム教授(スタンフォード大)の招待講演の人氣が加わり、予想どおりの盛り上がりであった。

会誌発行は年初の第3巻第1号から隔月刊に移行、編集委員会の周到な準備のもとに、各号特集を組むなど新企画を盛り込んで順調にスタートした。

昨年末発足した研究会活動は、他学会研究会との共催を含めて3研究会で計13回の研究会を開催、研究発表計67件、シンポジウム1回、パネル討論3回が行われた。

また、事業委員会の提案により、特定のテーマをもとにした研究部会活動3グループをスタートさせた。

セミナーは東京、京都、名古屋で計3回開催、学生のための人工知能講演会は、前年度の電気通信普及財団助成金事業の継続として、金沢工業大学、広島大学、岡山大学で開催、いずれも好評であった。

本年度発足した広報委員会は、学会PR、会員勧誘対策に取り組み、ほぼ所期の成果を挙げた。

次年度の7月で設立後3年を経過し、法人化の基本条件を満たすことから、11月に法人化委員会を発足させ、準備作業に着手した。

## 2. 会員現況(1989年3月31日現在)

正会員	3,167名
学生会員	281名
賛助会員	124社
特殊購読会員	29団体

## 3. 会誌の発行

### ◇第3巻第3号(通巻9号)

- ・巻頭言、連載[A Iにおける論争](第4回)、特集[次世代自然言語処理技術]解説7編、論文6編、その他で構成

### ◇第3巻第4号(通巻10号)

- ・巻頭言、連載[A Iにおける論争](第5回)、特集[音声の知的処理]解説7編、論文5編、その他で構成

### ◇第3巻第5号(通巻11号)

- ・新会長挨拶、新委員長挨拶、パネル討論[人工知能システム実現への課題]、座談会[人工知能研究の現状と問題点]、解説3編、論文6編、その他で構成

### ◇第3巻第6号(通巻12号)

- ・巻頭言、解説1編、特集[学習と知識獲得技術の新展開]解説7編、論文4編、その他で構成

### ◇第4巻第1号(通巻13号)

- ・巻頭言、特集[画像理解]解説6編、論文4編、その他で構成

### ◇第4巻第2号(通巻14号)

- ・巻頭言、特集[ニューラルネットワーク]解説7編、パネル討論[常識とはなにか]、論文3編、ショートノート1編、その他で構成

#### 4. 1988年度全国大会(第2回)の開催

前年度とほぼ同じ構成で第2回全国大会を開催した。

◇日時 1988年7月21日(木)～7月23日(土)

◇場所 学習院大学・記念会館および西4号館

◇プログラム構成

・特別講演

[新分野“Computer Chemistry”を拓く] 佐々木 桓一(豊橋技科大)

・招待講演

[AI in 1988: The path of knowledge or the path of reason?]

E.A. Feigenbaum (Univ. of Stanford)

・パネルディスカッション [常識とは何か—次世代知識システムへ向けて—]

司会 上野晴樹(東京電機大)

出席者 戸田正直(中京大)

米盛裕二(琉球大)

吉野 一(明治学院大)

辻井潤一(京大)

・一般講演

発表論文 137編

・参加者

1,235名(内非会員220名、学生98名)

・優秀論文賞表彰

優秀論文 6編

・チュートリアル講演

講演者/演題 後藤滋樹(NTT) [人工知能と信号処理言語]

小林重信(東工大) [問題解決と高次推論]

新田義彦(日立) [自然言語処理]

松山隆司(東北大) [知識型ビジョン]

渡辺正信(日電) [知識獲得と学習]

乾 敏郎(ATR) [並列処理と認知モデル]

参加者 424名(第1日137名、第2日118名、第3日169名)

#### 5. 研究会の開催

12月度研究会は3研究会合同、2月度研究会は人工知能基礎論、ヒューマンインタフェースと認知モデル両研究会合同で、他学会との共催を含めて計13回の研究会を開催した。

◇人工知能基礎論研究会

・第2回

日時 1988年6月28日(火) 13時～17時

場所 東京大学生産技術研究所第1会議室(東京・六本木)

内容 研究発表4件

参加者 28名

・第3回

日時 1988年10月20日(木) 10時～17時

場所 九州大学大型計算機センター(福岡・箱崎)

内容 研究発表8件

参加者 50名

・第4回

日 時 1988年12月8日(木) 9時~12時20分  
場 所 サンシャイン集会室4・5号室(東京・東池袋)  
内 容 研究発表4件  
参加者 81名

・第5回

日 時 1989年2月1日(水) 15時5分~17時45分  
場 所 森永プラザビル23F(東京・田町)  
内 容 研究発表4件  
参加者 34名

◇ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会

・第2回《ソフトウェア科学会・ヒューマンインタフェース研究会と共催》

日 時 1988年6月1日(水) 13時30分~17時  
場 所 青年会議所会館501~503会議室(東京・平河町)  
内 容 研究発表5件  
参加者 34名

・第3回

日 時 1988年10月3日(月) 10時30分~15時40分  
場 所 ツイン21MIDタワー17F・ATR会議室(大阪・東区)  
内 容 研究発表5件  
参加者 47名

・第4回

日 時 1988年12月8日(水) 13時20分~16時40分  
場 所 サンシャイン集会室4・5号室(東京・東池袋)  
内 容 シンポジウム/パネル討論・講演者5名  
[テーマ:ヒューマンインタフェース技術の課題と研究アプローチ]  
参加者 65名

・第5回

日 時 1989年2月1日(水) 9時10分~14時50分  
場 所 森永プラザビル23F(東京・田町)  
内 容 研究発表7件  
参加者 37名

◇知識ベースシステム研究会

・第2回

日 時 1988年4月26日(火)・27日(水) 10時~16時30分  
場 所 森永プラザビル23F(東京・田町)  
内 容 研究発表7件  
参加者 <26日>134名<27日>106名

・第3回

日 時 1988年6月21日(火) 13時~17時  
場 所 森永プラザビル23F(東京・田町)  
内 容 研究発表4件  
参加者 43名

・第4回《精密工学会・設計論とCAD専門委員会と共催》

日 時 1988年10月25日(火)・26日(水) 10時~16時30分  
場 所 サンシャイン集会室10号室(東京・東池袋)  
内 容 研究発表8件  
参加者 42名

・第5回

日 時 1988年12月9日(金) 10時~16時30分  
場 所 サンシャイン集会室4・5号室(東京・東池袋)  
内 容 研究発表2件/パネル討論[深い知識]・パネラー5名、ディスカサント2名  
参加者 80名

・第6回《電子情報通信学会・人工知能と知識処理研究会と共催》

日 時 1989年2月2日(木) 9時30分~18時10分  
場 所 大阪大学産業科学研究所講義室(大阪・吹田)  
内 容 研究発表9件  
参加者 65名

6. セミナーの開催

◇第5/6回人工知能セミナー

同一のテーマ、講師により第5回(東京)、第6回(京都)セミナーを開催した。第6回(京都)セミナーは京都高度技術研究所との共催であった。

・日 時 <東京>1988年11月28日(月) 9時30分~16時30分  
<京都>1988年11月29日(火) 9時30分~16時30分

・場 所 <東京>サンシャイン集会所10合集会室(東京・池袋)  
<京都>京大会館210号室(京都・吉田)

・テ ー マ [エキスパートシェル]

・プログラム 1)汎用機からパソコンまでの一貫したシェル: KEE  
井上 登(CSK)  
2)ジェネリックタスクアプローチに基づく特定問題専用ツール: CSRL  
尾山伸一(富士ゼロックス)  
3)ESHELL/X: オブジェクト指向に基づくシステム連携の実現  
神田 隆(富士通)  
4)ドメインシェル『G2』による  
リアルタイム・エキスパートシステムの開発方法  
福岡博文(伊藤忠テクノサイエンス)

・参加者 <東京>60名、<京都>45名

◇第7回人工知能セミナー

東海エアイ研究会との共催で、名古屋で開催した。

・日 時 1989年3月14日(火) 9時30分~16時30分

・場 所 電気文化会館8階会議室(名古屋・伏見)

・テ ー マ [知識処理システムにおける情報モデリング]

・プログラム 1)深い知識と情報モデリング  
溝口理一郎(大阪大学)  
2)オブジェクト指向データベース  
田中 克己(神戸大学)  
3)オブジェクト指向モデリングとヒューマン・インタフェース  
田中 謙(北海道大学)  
4)知的機械CADのための挙動表現可能な設計対象モデリング  
伊藤 公俊(東京工業大学)

・参加者 81名

7. 学生のための人工知能講演会の開催

◇第4回

- ・日 時 1989年10月21日(金) 12時45分～16時
- ・会 場 金沢工業大学5-101講義室
- ・講 演 1)言葉の理解と人工知能 石崎 俊(電子技術総合研究所)  
2)生物の知能と人工知能 木村正行(東北大学)
- ・参加者 約400名
- ◇第5回
- ・日 時 1989年11月11日(金) 13時20分～16時50分
- ・会 場 広島大学工学部講義室
- ・講 演 1)人工知能の話「理解」を中心として 小原啓義(早稲田大学)  
2)知識情報処理と教育への応用 大槻説乎(九州工業大学)
- ・参加者 約90名
- ◇第6回
- ・日 時 1989年11月16日(水) 13時30分～16時40分
- ・会 場 岡山大学工学部大講義室
- ・講 演 1)応用人工知能における二、三のトピック 豊田順一(大阪大学)  
2)AIにおける論理と推論 原口 誠(東京工業大学)
- ・参加者 約200名

## 8. 研究部会の活動

“知的ソフトウェア開発”、“知的データベース”、“知的コミュニケーションネットワーク”の3研究部会が発足準備を進め、それぞれ核メンバー会議を開催した。

### ◇知的ソフトウェア開発研究部会

#### ・第1回核メンバー会議

日 時 1989年1月18日  
場 所 東京大学先端科学技術研究センター(東京・駒場)  
参加者 10名

### ◇知的データベース研究部会

#### ・第1回核メンバー会議

日 時 1988年8月30日  
場 所 東京大学先端科学技術研究センター(東京・駒場)  
参加者 6名

#### ・第2回核メンバー会議

日 時 1988年11月14日～16日  
場 所 富士通研究所  
参加者 7名

### ◇知的コミュニケーションネットワーク研究部会

#### ・第1回核メンバー会議

日 時 1988年10月8日(土)  
場 所 ゼロックスアカデミックサロン(東京・霞が関)  
参加者 7名

#### ・第1回会議

日 時 1988年12月23日(金)  
場 所 アルカディア市ヶ谷私学会館会議室(東京・市ヶ谷)  
参加者 18名

#### ・第2回会議

日 時 1989年3月22日(水)  
場 所 KDD目黒研究所(東京・目黒)

参加者 15名

## 9. ニュースレターの発行

学会活動の最新情報を会員に伝達するために、3回発行した。

### ◇ニュースレターNO. 8

第3回通常総会の開催、1988年度全国大会（第2回）の開催、10月度研究会の発表募集および協賛の催し物のお知らせを掲載し、6月に配布した。

### ◇ニュースレターNO. 9

10月度研究会/12月度研究会の開催、2月度研究会の発表募集、第5/6回人工知能セミナーの開催および協賛の催し物のお知らせを掲載し、9月に配布した。

### ◇ニュースレターNO. 10

1989年度全国大会（第3回）の論文募集、第7回人工知能セミナーの開催、2月度研究会の開催、4月度研究会の発表募集および協賛の催し物のお知らせを掲載し、1月に配布した。

## 10. 表彰

### ◇学会論文賞の贈呈

論文賞規程、論文賞候補選定細則にもとづき、会誌第2巻1号～第3巻第6号掲載の論文、ショートノートおよび技術資料計51編を対象に、会員による推薦および候補選定委員会の審査を経て、下記の論文2編の著者に論文賞を贈呈した。

- ・ [簡単なバルス回路における不連続変化の定性的解析法] (VOL.2, NO.4) 西田豊明、堂下修司
  - ・ [環境モデルにおける物体の見え方と見方] (VOL.3, NO.4) 伊庭斉志、松原 仁、井上博允
- ### ◇全国大会（第2回）優秀論文の表彰
- 発表論文137編を対象に、プログラム委員会査読委員の審査を経て、下記の論文6編の著者を表彰した。
- ・ 論文番号2-4 [多重推論：独立な複数の曖昧な根拠に基づく推論]  
田村進一（阪大）、唐沢 博（京都教育大）
  - ・ 論文番号3-8 [ニューラル・ネットワークによる移動ロボットの制御]  
長田茂美、関口 実、古沢英樹、渡部信雄、木本 隆、浅川和雄（富士通研）
  - ・ 論文番号6-9 [ファジィ推論を用いた自律的制御システム] 上石陽一（アドイン研）
  - ・ 論文番号7-8 [論理型文法における制約解析] 杉村領一（ICOT）
  - ・ 論文番号7-9 [文章からの3次元空間的シーンの再構成]  
山田 篤、西田豊明、堂下修司（京大）
  - ・ 論文番号11-3 [並列処理による画像理解アルゴリズムの有機的統合]  
渡辺正規、大田友一、池田克夫（筑波大）

## 11. 共催、協賛、後援の催し物

次のとおり催し物の共催6件、協賛33件により、他学協会と協調して学会活動の活発化、多様化を進めた。

### 《共催》

- ◇精密工学会主催：セミナー [ファジィ理論による最先端制御とその応用] (1988/6/10)
- ◇教育工学関連学協会連合（日本教育工学会、CAI学会、他）共催：第2回研究発表全国大会 (1988/10/8～10)
- ◇パターン認識国際会議主催：第9回パターン認識国際会議 (1988/10/17～20) <中国北京市>
- ◇日本自動制御協会主催：第31回自動制御連合講演会(1988/10/25～27)
- ◇人工知能学会・日本ロボット学会・宇宙科学研究所・航空宇宙技術研究所・宇宙開発事業団共催：宇宙人工知能/ロボテックス/オートメーション・シンポジウム(1988/11/17～18)
- ◇情報知識学会主催：1988年情報学シンポジウム(1989/1/17～18)



《協賛》

- ◇(財)新世代コンピュータ技術開発機構主催: The Logic Programming Conference '88 (1988/4/12~14)
- ◇国際ファジィシステム学会主催: 第4回ファジィシステムシンポジウム (1988/5/30~31)
- ◇日本能率協会主催: "Computer Graphics Osaka'88 展示会・シンポジウム(1988/6/1~4)
- ◇計測自動制御学会関西支部主催: あいまい情報処理と知的システム処理シンポジウム(1988/6/7)
- ◇日本機械学会主催: 第4回知能移動ロボットシンポジウム(1988/6/13~14)
- ◇計測自動制御学会関西支部主催: 生体におけるセンシングと情報処理講習会(1988/6/10)
- ◇日本機械学会主催: 最新半導体デバイスの機械制御への応用講習会(1988/6/22~23)
- ◇日本経済新聞社主催 "A I '88" (1988/7/4~7)
- ◇日本自動制御協会主催: セミナー [コンピュータ近未来] <大阪>(1988/7/5~)<東京> (63/7/14~15)
- ◇日本産業用ロボット工業会主催: 第36回産業用ロボット利用技術講習会<東京>(1988/7/21~22) <大阪>(1988/7/28~29)
- ◇(社)日本産業用ロボット工業会主催: 第11回ロボットおよび応用システム・シンポジウム <東京>(1988/9/13~14)<大阪>(1988/9/20~21)
- ◇視聴覚情報研究会 (AVIRG) 主催: AVIRG-SMCサマーセミナー [情報理解のニューパラダイム] ~コネクションズムを越えて~(1988/9/20)
- ◇システム制御情報学会主催: セミナー「制御理論応用の最先端」<東京> (1988/9/21~22) <大阪>(1988/9/29~30)
- ◇日本ロボット学会主催: [神経回路網とロボット制御] 講習会(1988/9/29)
- ◇(社)計測自動制御学会: 第8回知識工学シンポジウム(1988/10/18~19)
- ◇計測自動制御学会主催: [知識獲得と学習に関する講習会] (1988/10/20~21)
- ◇日本ロボット学会主催: 第6回学術講演会(1988/10/20~22)
- ◇日本ロボット学会主催: "IEEE International Workshop on Intelligent Robots and Systems - Toward the Next Generation Robot and System-" (1988/11/1~2)
- ◇計測自動制御学会主催: 第4回ヒューマン・インタフェース・シンポジウム(1988/11/3~5)
- ◇計測自動制御学会主催: 「ファジィ推論法—理論と実際」講習会(1988/11/21~22)
- ◇電子化辞書国際シンポジウム実行委員会主催: 電子化辞書国際シンポジウム(1988/11/24~25)
- ◇計測自動制御学会主催: 第3回生体・生理工学シンポジウム(1988/11/24~25)
- ◇(財)ICOT主催: 第五世代コンピュータ国際会議(1988)(1988/11/28~12/2)
- ◇精密工学会主催: 講習会 [ニューロコンピュータとは何か—その原理を知り応用を探り将来について語る—] (1988/12/7)
- ◇センシング技術応用研究会、大阪府技術協会主催: '88センシング技術応用セミナー (1988/12/8~9)
- ◇日本産業用ロボット工業会主催: 第7回産業用ロボット利用技術講習会 <東京>(1988/12/8~9)<大阪>(1988/12/15~16)
- ◇日本材料学会主催: [第11回材料講習会: 各種材料データベースとエキスパートシステムの実戦的応用] (1988/12/13~14)
- ◇テレビジョン学会主催: セミナー「画像処理の基礎と応用」(1988/12/12~14)
- ◇システム制御情報学会主催: 第2回シグナル・システム・コントロール (SSC) シンポジウム(1989/1/24~25)
- ◇医療情報学会医療コンサルテーションシステム研究会主催: 国際シンポジウム [医療知識ベースの時代の幕開け] (1989/1/27)
- ◇システム制御情報学会主催: 第39回システム制御情報講習会「次世代FA技術の基礎と最新応用事例」<大阪>(1989/2/9~10)<東京>(1989/2/15~16)
- ◇日本産業用ロボット工業会主催: 第13回産業用ロボット・フィルムフェスティバル

- <東京>(1989/2/21)<大阪>(1989/2/28)  
◇計測自動制御学会主催：第9回知識工学シンポジウム(1989/3/27~28)

## 12. 会議

### ◇第3回通常総会

6月24日(金)に日本教育会館(東京・一ツ橋)で開催された。

### ◇理事会

8月を除く各月に計11回開催された。

### ◇1988年度評議員会

定例会議が5月27日(金)に青学会館(東京・青山)で開催された。

### ◇委員会

編集、研究会運営、事業、企画、財務、庶務のほか新しく発足した広報、法人化の各委員会および1988年度全国大会(第2回)実行委員会、同プログラム委員会ならびに1989年度全国大会(第3回)開催準備のための大会委員会、同プログラム委員会、人工知能ハンドブック編集委員会が随時開催された。

## 13. 契約締結、覚書交換、認可など

### ◇全国大会運営事務委託の覚書交換

前年度からの継続として、1988年度全国大会(第2回)および引続き1989年度全国大会(第3回)運営事務を(株)連企画研究事務所に委託し、大会事務局(東京都港区浜松町2-12-14、第2日化ビル3階)を設けた。(1988年12月1日付)

### ◇学会発行誌掲載論文の英文抄録についての利用許諾

研究会資料に関し、(特)日本科学技術情報センターに対して掲載論文の英文抄録利用許諾を行った。(1988年12月1日付)

### ◇学会誌の学術刊行物指定の認可

郵政省から、郵便法第26条第1項第5号に掲げる刊行物[学術刊行物]としての指定を認可された。(1988年12月23日付)

### ◇データベースの作成、取り扱いについての覚書交換

研究会資料に関し、データベースの作成および取り扱いについて、学術情報センターと覚書を交換した。(1989年3月31日付)

以上

# 1988年度決算報告書(案)

## 貸借対照表(1989年3月31日)

### 1) 資産の部

科 目	金 額
1. 流動資産	
(1)現金預金	76,628,097
現金	(89,506)
預金	(18,538,591)
定期預金	(58,000,000)
(2)未収金	6,152,050
(3)前払い金	900,000
(4)立替金	177,000
(5)担保金	850,000
(6)貸出金	1,500,000
流動資産計	[86,207,147]
2. 有形固定資産	
(1)備品	876,000
有形固定資産計	[876,000]
3. その他の固定資産	
(1)入居保証金	3,500,000
(2)電話架設料	145,600
その他の固定資産計	[3,645,600]
資 産 合 計	90,728,747

### 2) 負債の部

科 目	金 額
1. 流動負債	
(1)前納金	22,667,000
(2)預り金	23,200
(3)未払い金	500,000
流動負債計	[23,190,200]
2. 固定負債	
(1)国際会議積立金	9,000,000
(2)法人化準備基金	8,000,000
(3)退職金引当金	700,000
固定負債計	[17,700,000]
負 債 合 計	40,890,200

### 3) 正味財産の部

科 目	金 額
1. 基本財産	
(1)基本財産	35,000,000
基本財産計	[35,000,000]
2. 剰余金	
(1)次期繰越収支差額	13,962,547
(2)次期繰越増減差額	876,000
剰余金計	[14,838,547]
正 味 財 産 合 計	49,838,547
負債および正味財産合計	90,728,747

財産目録（1989年3月31日）

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 流動資産	
(1)現金預金	
イ)現金	
現金手持ち有り高	89,506
ロ)普通預金	
第一勧業銀行北沢支店 (代表幹事口座)	15,343,945
郵便貯金 (代表幹事口座)	922,581
三菱銀行代々木上原支店 (代表幹事口座)	363,561
第一勧業銀行北沢支店 (事務局長口座)	556,846
ハ)振替貯金	
東京振替貯金局	1,351,658
ニ)定期預金	
第一勧業銀行北沢支店	30,000,000
第一勧業銀行北沢支店	5,000,000
第一勧業銀行北沢支店	3,000,000
第一勧業銀行北沢支店	2,000,000
三菱銀行代々木上原支店	13,000,000
定額郵便貯金	3,000,000
定額郵便貯金	2,000,000
(2)未収金	
イ)86年度入会金・年会費	72,450
ロ)87年度入会金・年会費	670,000
ハ)88年度入会金・年会費	2,253,400
ニ)87年度会誌別刷り	76,000
ホ)88年度会誌別刷り	938,600
ヘ)会誌印税	864,000
ト)会誌広告料	1,078,000
チ)研究会登録料	88,000
リ)研究会別刷り料	43,000
ヌ)セミナー参加料	38,600
ネ)名簿頒布料	30,000
ノ)その他	
(3)前払い金	
イ)会誌発行諸経費	900,000
(4)立替金	
イ)全国大会資料郵送費	177,000
(5)担保金	
イ)郵便物受取人払い担保金	850,000
(6)貸出金	
イ)全国大会運営費	1,500,000
2. 有形固定資産	
(1)備品	
イ)パソコン1式	288,000
ロ)基本ワープロ1式	126,000
ハ)空調設備1式	410,000
ニ)金庫	52,000
3. 無形固定資産	
(1)入居保証金	3,500,000
(2)電話架設料	145,600
資 産 合 計	90,728,747

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 流動負債	
(1)前納金	
イ)89年度入会金・年会費	21,454,500
ロ)90年度年会費	40,000
ハ)研究会登録料	1,172,500
(2)預り金	
イ)会費充当金、他	23,200
(3)未払金	
イ)ニュースレターNO.8発行経費	25,000
ロ)62年度OA化費	475,000
2. 固定負債	
イ)国際会議積立金	9,000,000
ロ)法人化準備基金	8,000,000
ハ)退職金引当金	700,000
負 債 合 計	40,890,200
正 味 財 産	49,838,547

注1：基本財産は定期預金35,000,000円。

注2：固定資産の減価償却額はない。

[1] 収支計算の部 (自1988年4月1日~至1989年3月31日)

1) 収入の部

科 目	予 算	実 算	差 異
基本財産運用収入	1,010,000	813,601	▲196,399
入会金収入	955,000	1,328,000	373,000
正会員入会金	910,000	1,242,000	332,000
学生会員入会金	45,000	86,000	41,000
年会費収入	45,950,000	47,710,000	1,760,000
正会員年会費	23,600,000	25,336,000	1,736,000
学生会員年会費	1,200,000	1,124,000	▲76,000
賛助会員年会費	20,800,000	20,960,000	160,000
特殊購読会員年会費	350,000	290,000	▲60,000
事業収入	26,577,000	29,713,443	3,136,443
会誌別刷り料	2,472,000	4,417,600	1,945,600
会誌印税	1,944,000	1,362,420	▲581,580
全国大会参加費、他	12,250,000	14,251,848	2,001,848
セミナー参加費	2,460,000	1,504,000	▲956,000
会誌などBN頒布代	1,360,000	1,462,400	102,400
研究会登録料、他	2,750,000	2,736,500	▲13,500
研究会別刷り頒布代	91,000	175,000	84,000
会員名簿頒布料	3,250,000	3,462,000	212,000
その他	0	341,675	341,675
雑収入	3,955,000	6,078,673	2,123,673
会誌広告料	3,780,000	5,560,000	1,780,000
郵送料、他	25,000	62,000	37,000
受取利息	150,000	456,673	306,673
当期収入合計	78,447,000	85,643,717	7,196,717
前期繰越収支差額	9,974,992	9,974,992	0
収入合計	88,421,992	95,618,709	7,196,717

注1: 全国大会は独立会計なので、収入、支出の合計額を記載。

## 2) 支出の部

科 目	予 算	実 算	差 異
管理費	19,795,000	21,957,935	2,162,935
家賃	1,680,000	1,680,000	0
共益費	60,000	60,000	0
光熱費	192,000	219,882	27,882
リース料、他	823,000	977,040	154,040
什器備品費	300,000	105,200	▲194,800
会議費	1,150,000	1,306,206	156,206
旅費交通費	400,000	298,380	▲101,620
通信費	1,500,000	2,493,040	993,040
印刷費	800,000	960,970	160,970
消耗品費	800,000	1,595,290	795,290
給料・手当	10,100,000	10,615,914	515,914
臨時雇用費	960,000	1,129,740	169,740
支払い手数料	35,000	53,300	18,300
雑費	180,000	197,073	17,073
資料購入費	140,000	111,110	▲28,890
研修費	50,000	15,000	▲35,000
OA強化費	500,000	0	▲500,000
保険料	5,000	4,000	▲1,000
福利厚生費	120,000	0	▲120,000
倉庫管理料	0	135,790	135,790
事業費	50,832,000	53,398,227	2,566,227
会誌発行費	25,680,000	27,893,221	2,213,221
会誌別刷り印刷費	1,800,000	1,761,005	▲38,995
会誌執筆謝礼	480,000	493,564	13,564
会誌発行諸経費	900,000	1,000,840	100,840
全国大会開催費	12,250,000	11,114,720	▲1,135,280
セミナー開催費	1,357,000	1,654,865	297,865
コースター発行費	660,000	603,020	▲56,980
会員名簿発行費	2,890,000	3,462,200	572,200
地方講演会開催費	720,000	682,770	▲37,230
研究会、他開催費	2,910,000	4,135,114	1,225,114
広報活動費	260,000	9,790	▲250,210
会議費	925,000	552,118	▲372,882
表彰費	-	35,000	35,000
引当金繰入額	6,300,000	6,300,000	0
国際会議積立金繰入額	3,000,000	3,000,000	0
法人化準備基金繰入額	3,000,000	3,000,000	0
退職金引当金繰入額	300,000	300,000	0
予備費	1,500,000	0	▲1,500,000
当期支出合計	78,427,000	81,656,162	3,229,162
次期繰越収支差額	9,994,992	13,962,547	3,967,555
支出合計	88,421,992	95,618,709	7,196,717

「2」正味財産増減計算の部  
 (自1988年4月1日～至1989年3月31日)

1) 増加の部

科 目	実 算 額
1) 増加額	0
前期繰越増減差額	876,000
増加額合計	876,000

2) 減少の部

科 目	実 算 額
減少額合計	0
次期繰越増減差額	876,000
剰余金合計	14,838,547

# 1989年度事業計画 (案)

## 1. 運営・活動方針

会則の目的に沿って、会誌の隔月発行、全国大会(第3回)、研究会、セミナーおよび講演会の開催、研究部会活動の推進、ニューズレターの発行、学会論文賞および全国大会優秀論文賞の表彰ならびに他学協会との協調により学会活動の活発化、多様化を推進するとともに、引続き組織・基盤の強化に努めて会員サービスの充実をはかり、一方法人化への具体的準備を進める。

## 2. 会誌の発行

- ◇第4巻第3号(通巻15号) 1989年5月20日発行  
特集企画 [第5世代コンピュータ]
- ◇第4巻第4号(通巻16号) 1989年7月20日発行
- ◇第4巻第5号(通巻17号) 1989年9月1日発行  
特集企画 [定性推論]
- ◇第4巻第6号(通巻18号) 1989年11月1日発行  
特集企画 [機械翻訳]
- ◇第5巻第1号(通巻19号) 1990年1月1日発行  
特集企画 [人工知能と定理証明システム]
- ◇第5巻第2号(通巻20号) 1990年3月1日発行  
論文特集 [エキスパートシステム]

## 3. 全国大会(第3回)の開催

- |     |   |
|-----|---|
| 期 日 | 1989年7月24日(月)~26日(水)  |
| 場 所 | 学習院大学/記念会館および西4号館教室   |
| 構 成 | ・特別講演 [設計と人工知能] 吉川弘之教授(東大)<br>・招待講演 [PDP: Bridging the gap between human and machine intelligence]<br>Prof. James L. McClelland<br>(Department of Psychology, Carnegie-Mellon University)<br>・パネルディスカッション<br>[エキスパートシステムと人工知能理論]<br>・一般講演(194件)<br>・チュートリアル講演(6件) |

## 4. 研究会の開催

- 3研究会が偶数月に計13回の研究会を開催する。
- ◇人工知能基礎論研究会(略称: SIG-FAI)  
開催 予定月: 6月27日(東京)、10月11日(札幌)、12月(3研究会合同)、2月(SIG-HICGと共催)
  - ◇ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会(略称: SIG-HICG)  
開催 予定月: 5月29日(東京)、10月4日(東京)、12月(3研究会合同)、2月(SIG-FAIと共催)
  - ◇知識ベースシステム研究会(略称: SIG-KBS)  
開催 予定月: 4月22日(テーマ: 知的CAI、新横浜) 6月27日(テーマ: 意味と理解、東京)、11月24日(テーマ: 知的ソフトウェア開発、東京)、12月(3研究会合同)、2月  
《各研究会ともそれぞれテーマを決めて募集する。なお、一般演題も応募でき



る》

5. セミナー、講演会の開催

セミナーおよび学生のための講演会をそれぞれ年3回開催の予定。

6. 研究部会活動の推進

知的コミュニケーションネットワーク、知的ソフトウェア開発、知的データベースの3研究部会を中心に、部会活動を進める。

7. ニュースレターの発行

年3回程度随時発行の予定。

8. 表彰

1988年～1989年発行の会誌掲載論文、ショートノート、技術資料を対象とした学会論文賞および全国大会（第3回）発表の優秀論文賞の表彰を行う。

9. 法人化の準備

法人化委員会を中心に、法人化へ向けて学会の組織整備、基盤強化をはかるとともに、関係官庁との折衝を始め、本年度中に申請を行う。

10. 人工知能ハンドブックの発行

人工知能ハンドブック編集委員会で準備を進めてきたハンドブックは、本年末に発刊（発行元オーム社）の予定。

11. 関連学協会との共催、協賛など

昨年度に引続き、他学協会との協調により学会活動の活発化、多様化を推進する。本学会が共催/協賛/後援する、関連学協会の本年度開催の催し物は、共催2件、協賛24件、後援1件（5月9日現在）である。

12. 理事会・委員会

◇理事会

毎月1回開催。（8月は休会）

◇委員会その他

編集、研究会運営、事業、全国大会・同プログラム委員会、広報、企画、財務、庶務、人工知能ハンドブック編集委員会、法人化委員会は随時開催。

13. 1989年度役員構成（案）

別紙参照

14. 1989年度評議員名簿

別紙参照

以上

# 1989年度予算書(案)

(自1989年4月1日～至1990年3月31日)

## 1) 収入の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
基本財産運用	500,000	1,010,000	▲510,000
入会金収入	580,000	955,000	▲375,000
正会員入会金	560,000	910,000	▲350,000
学生会員入会金	20,000	45,000	▲25,000
会費収入	51,670,000	45,950,000	5,720,000
正会員会費	27,520,000	23,600,000	3,920,000
学生会員会費	1,200,000	1,200,000	0
賛助会員会費	22,560,000	20,800,000	1,760,000
特殊購読会員会費	390,000	350,000	40,000
事業収入	27,070,000	26,577,000	493,000
会誌別刷料	2,952,000	2,472,000	480,000
会誌印税	1,038,000	1,944,000	▲906,000
全国大会参加費 他	12,250,000	12,250,000	0
セミナー参加費	2,460,000	2,460,000	0
フォーラム参加費	150,000	-	150,000
会誌など頒布代	1,500,000	1,360,000	140,000
会員名簿頒布料	3,400,000	3,250,000	150,000
研究会登録料、他	3,320,000	2,841,000	479,000
その他	0	0	0
雑収入	5,050,000	3,955,000	1,095,000
会誌広告料	4,410,000	3,780,000	630,000
郵送料 他	40,000	25,000	15,000
受取利息	600,000	150,000	450,000
<b>当期収入合計</b>	<b>84,870,000</b>	<b>78,447,000</b>	<b>6,423,000</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>13,962,547</b>	<b>9,974,992</b>	<b>3,987,555</b>
<b>収入合計</b>	<b>98,832,547</b>	<b>88,421,992</b>	<b>10,410,555</b>

## 2) 支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
管理費	23,823,000	19,795,000	4,028,000
家賃	1,875,000	1,680,000	195,000
共益費	67,000	60,000	7,000
光熱費	200,000	192,000	8,000
リース料 他	1,036,000	823,000	213,000
什器備品費	200,000	300,000	▲100,000
会議費	1,400,000	1,150,000	250,000
旅費交通費	250,000	400,000	▲150,000
通信費	2,000,000	1,500,000	500,000
印刷費	950,000	800,000	150,000
消耗品費	1,100,000	800,000	300,000
倉庫管理費	120,000	-	120,000
給料手当等	11,600,000	10,100,000	1,500,000
臨時雇用費	1,100,000	960,000	140,000
支払い手数料	40,000	35,000	5,000
雑費	185,000	180,000	5,000
資料購入費	145,000	140,000	5,000
研修費	50,000	50,000	0
OA強化費	500,000	500,000	0
保険料	5,000	5,000	0
福利厚生費	1,000,000	120,000	880,000
事業費	54,981,000	50,832,000	4,149,000
会誌発行費	26,723,000	25,680,000	1,043,000
会誌別刷印刷費	1,978,000	1,800,000	178,000
会誌執筆謝礼	528,000	480,000	48,000
会誌発行諸経費	900,000	900,000	0
全国大会開催費	12,250,000	12,250,000	0
セミナー開催費	1,757,000	1,357,000	400,000
フォーラム開催費	506,000	-	506,000
研究部会開催費	120,000	-	120,000
ニューズレター発行費	804,000	660,000	144,000
会員名簿発行費	3,573,000	2,890,000	683,000
地方講演会	742,000	720,000	22,000
研究会、他開催費	3,975,000	2,910,000	1,065,000
広報活動費	360,000	260,000	100,000
表彰費	60,000	-	60,000
会議費	705,000	925,000	▲220,000
引当金繰入額	4,300,000	6,300,000	▲2,000,000
国際会議積立金繰入額	2,000,000	3,000,000	▲1,000,000
法人化準備基金繰入額	2,000,000	3,000,000	▲1,000,000
退職金引当金繰入額	300,000	300,000	0
予備費	1,500,000	1,500,000	0
当期支出合計	84,604,000	78,427,000	6,177,000
次期繰越収支差額	14,228,547	9,994,992	4,233,555
支出合計	98,832,547	88,421,992	10,410,555

## 会則改正（案）

### <現 行>

#### 第6条（会員の種別）

本会の会員は、次の各号に該当し、所定の手続きを完了した者とする。

- 1) 正 会 員 本会の対象とする領域またはそれと関連ある領域において専門の学識、技術  
または経験を有する者
- 2) 学生会員 本会の対象とする領域またはそれと関連ある領域において勉学中の大学学部、  
大学院修士課程あるいはこれに準じる学校に籍を置く学生

### <改正案>

#### 第6条（会員の種別）

本会の会員は、次の各号に該当し、所定の手続きを完了した者とする。

- 1) 正 会 員 本会の対象とする領域またはそれと関連ある領域において専門の学識、技術  
または経験を有する者
- 2) 学生会員 本会の対象とする領域またはそれと関連ある領域において勉学中の学生で、  
学生会員を希望する者

### 付 則

#### 第34条（第6条改正の実施時期）

第6条の改正は、1990年4月1日より実施する。

以 上

## 1989年度人工知能学会役員構成(案)

会 長	大須賀節雄	東京大学先端科学技術研究センター・教授	(留任)
副会長	辻 三郎	大阪大学基礎工学部・教授	(留任)
副会長	加藤 康雄	日本電気(株)取締役	(新任)
理 事	穉本 能彬	東京電力(株)システム研究所A I研究室・室長	(新任)
理 事	有川 節夫	九州大学理学部附属基礎情報学研究施設・教授	(新任)
理 事	石原孝一郎	(株)日立製作所/システム開発研究所第5部・部長	(留任)
理 事	稲垣 康善	名古屋大学工学部電気工学科・教授	(新任)
理 事	浦野 義頼	国際電信電話(株)上福岡研究所・次長	(新任)
理 事	角所 収	大阪大学産業科学研究所・教授	(留任)
理 事	木村 正行	東北大学工学部情報工学科・教授	(留任)
理 事	佐々木浩二	(株)アドイン研究所・代表取締役	(留任)
理 事	佐藤 繁	(株)富士通研究所・取締役	(留任)
理 事	椎野 努	沖電気工業(株)総合システム研究所・部長	(留任)
理 事	下村 尚久	(株)東芝/総合研究所・次長	(新任)
理 事	白井 克彦	早稲田大学理工学部電気工学科・教授	(留任)
理 事	白井 良明	大阪大学工学部電子制御機械工学科・教授	(留任)
理 事	諏訪 基	電子技術総合研究所情報科学部認知科学研究室・室長	(新任)
理 事	竹下 亨	日本アイ・ピー・エム(株)東京基礎研究所・理事	(新任)
理 事	田中千代治	三菱電機(株)中央研究所システム基礎研究部・部長	(再任)
理 事	田中 穂積	東京工業大学工学部情報工学科・教授	(留任)
理 事	堂下 修司	京都大学工学部情報工学科・教授	(再任)
理 事	平川 顕名	島根医科大学・副学長	(新任)
理 事	村上 国男	日本電信電話(株)情報通信処理研究所・知能処理研究部長	(新任)
理 事	横井 俊夫	(株)日本電子化辞書研究所・所長	(再任)
理 事	吉田 將	九州工業大学情報工学部知能情報工学科・教授	(留任)
監 事	反町 洋一	(株)三菱総合研究所・取締役	(新任)
監 事	三木 弼一	松下電器産業(株)情報システム研究所・所長	(新任)
顧 問	榎本 肇	富士通(株)・常任顧問	(留任)
顧 問	福村 晃夫	中京大学社会学部・教授	(留任)

<理事は五十音順>

# 1989年度人工知能学会評議員名簿

## 1) 構成

大学関係	78名(留任40、新任38)
国立・公的機関関係	14名(留任9、新任5)
企業関係	57名(留任25、新任32)
合 計	149名(留任74名、新任75名)

注：氏名左側の数字は任期中、  
1 は90年3月末まで  
2 は91年3月末まで

## 2) 大学関係

2	相磯 秀夫	慶応義塾大学理工学部電気工学科教授
1	相原 恒博	愛媛大学工学部電子工学科教授
1	阿部 圭一	静岡大学工学部情報工学科教授
1	有川 節夫	九州大学理学部基礎情報学研究施設教授
1	安在 弘幸	九州工業大学工学部情報工学科教授
1	安西祐一郎	慶応義塾大学理工学部電気工学科教授
2	池田 克夫	京都大学工学部情報工学科教授
1	石塚 満	東京大学生産技術研究所助教授
1	市川 惇信	東京工業大学総合理工学研究科教授
1	伊藤 紘二	東京理科大学基礎工学部電子応用工学科教授
2	伊藤 公俊	東京工業大学総合理工学研究科助手
1	稲垣 康善	名古屋大学工学部情報工学科教授
1	井上 和子	神田外語大学英米語学科教授
1	井上 博充	東京大学工学部機械工学科教授
2	岩井 壮介	京都大学工学部精密工学科教授
2	上野 晴樹	東京電機大学理工学部経営工学科教授
2	植村 俊亮	東京農工大学工学部数理情報工学科教授
2	白井 支朗	豊橋技術科学大学工学部情報工学系教授
1	大槻 説乎	九州工業大学知能情報工学科教授
1	岡田 直之	九州工業大学情報工学部知能情報工学科教授
2	小川 均	立命館大学工学部情報工学科助教授
2	開原 成允	東京大学医学部附属病院中央医療情報部教授
1	角所 収	大阪大学産業科学研究所教授
2	喜連川 優	東京大学生産技術研究所助教授
1	木村 文彦	東京大学工学部精密機械工学科教授
1	木村 正行	東北大学工学部情報工学科教授
2	国井 利泰	東京大学理学部情報科学科教授
1	小林 重信	東京工業大学総合理工学研究科助教授
1	小山 照夫	学術情報センター助教授
2	後藤 宗弘	岐阜大学工学部電子情報工学科教授
2	里村 洋一	千葉大学医学部附属病院医療情報部助教授
2	謝 章文	京都産業大学工学部情報通信学科助教授
2	志村 正道	東京工業大学工学部情報工学科教授
2	首藤 公昭	福岡大学工学部電子工学科教授
2	白井 英俊	中京大学文学部心理学研究室助教授
2	白鳥 則郎	東北大学電気通信研究所助教授
2	杉江 昇	名古屋大学工学部電気工学科教授

- |   |       |                          |
|---|-------|--------------------------|
| 2 | 鈴木 宣夫 | 名古屋工業大学工学部電気情報工学科教授      |
| 2 | 滝沢 誠  | 東京電機大学理工学部経営工学科助教授       |
| 2 | 田中 克己 | 神戸大学工学部計測工学科助教授          |
| 1 | 田中 英彦 | 東京大学工学部電気工学科教授           |
| 1 | 田中 穂積 | 東京工業大学工学部情報工学科教授         |
| 2 | 田中 稔  | ビッツバーグ大学コンピュータサイエンス部門    |
| 1 | 田中 謙  | 北海道大学工学部電気工学科助教授         |
| 2 | 田町 常夫 | 福岡工業大学工学部通信工学科教授         |
| 1 | 辻 正重  | 青山学院大学理工学部経営工学科教授        |
| 1 | 辻井 潤一 | マンチェスター大学サイエンス/テクノロジー研究所 |
| 1 | 津田 一郎 | 九州工業大学情報工学部知能情報工学科助教授    |
| 1 | 手塚 慶一 | 大阪大学工学部通信工学科教授           |
| 2 | 戸田 正直 | 中京大学文学部心理学教授             |
| 2 | 富山 哲男 | 東京大学工学部精密機械工学科助教授        |
| 1 | 豊田 順一 | 大阪大学産業科学研究所教授            |
| 1 | 鳥脇純一郎 | 名古屋大学工学部情報工学科教授          |
| 1 | 中川 裕志 | 横浜国立大学工学部電子情報工学科助教授      |
| 1 | 長尾 真  | 京都大学工学部電気工学第2学科教授        |
| 1 | 長田 正  | 九州大学工学部電気工学科教授           |
| 2 | 西田 豊明 | 京都大学工学部情報工学教室助教授         |
| 2 | 野口 正一 | 東北大学電気通信研究所教授            |
| 2 | 萩原 宏  | 京都大学工学部情報工学科教授           |
| 2 | 原口 誠  | 東京工業大学総合理工学研究科助教授        |
| 1 | 原田 実  | 青山学院大学理工学部経営工学科助教授       |
| 1 | 原田 行男 | 日本大学経済学部教授               |
| 2 | 平井 有三 | 筑波大学電子・情報工学系助教授          |
| 2 | 廣瀬 通孝 | 東京大学工学部産業機械工学科助教授        |
| 1 | 福田 収一 | 大阪大学溶接工学研究所助教授           |
| 2 | 福村 晃夫 | 中京大学社会学部教授               |
| 1 | 藤原 謙  | 筑波大学電子情報工学系教授            |
| 2 | 堀 浩一  | 東京大学先端科学技術研究センター助教授      |
| 1 | 松山 隆司 | 岡山大学工学部情報工学科教授           |
| 1 | 溝口 文雄 | 東京理科大学理工学部経営工学科助教授       |
| 1 | 溝口理一郎 | 大阪大学産業科学研究所助教授           |
| 1 | 村岡 洋一 | 早稲田大学理工学部電子通信学科教授        |
| 1 | 山崎 進  | 岡山大学工学部情報工学科教授           |
| 2 | 横田 将生 | 福岡工業大学言語情報研究所教授          |
| 1 | 吉田 雄二 | 名古屋大学工学部情報工学科教授          |
| 1 | 吉田 将  | 九州工業大学情報工学部知能情報工学科教授     |
| 1 | 吉野 一  | 明治学院大学法学部教授              |
| 1 | 米沢 明憲 | 東京工業大学理学部情報科学科助教授        |

## 2) 国立・公的機関関係

- |   |       |                           |
|---|-------|---------------------------|
| 1 | 石崎 俊  | 電子技術総合研究所知能情報部自然言語研究室長    |
| 1 | 内田 俊一 | (財) ICOT第2/第4研究室長         |
| 2 | 大島 正毅 | 電子技術総合研究所/知能システム部視覚情報研究室長 |
| 1 | 上条 史彦 | (財) 情報処理振興事業協会理事          |

- 2 岸 義樹 製品科学研究所応用人間工学部情報機能課主任研究官  
 1 木村 幸男 (財) 鉄道総合技術研究所/情報・制御システム研究室長  
 1 樽松 明 (株) A T R 自動翻訳電話研究所社長  
 2 鈴木 道夫 (財) 電力中央研究所/経済研究所情報システム部知識処理研究室長  
 1 諏訪 基 電子技術総合研究所/情報科学部認知科学研究室長  
 1 田村 佳彦 (財) 石油産業活性化センター主任  
 2 寺野 隆雄 (財) 電力中央研究所/経済研究所情報システム部主査  
 2 古川 俊之 国立大阪病院/病院長  
 1 山下 紘一 (株) A T R 通信システム研究所/情報科学第一研究部長  
 1 吉岡 毅泰 宇宙開発事業団/宇宙実験グループ宇宙基地推進室副主任開発部員

#### 4) 企業関係

- 1 穉本 能彬 東京電力(株) システム研究所A I 研究室長  
 2 池田 純一 池田法律事務所(弁護士)  
 1 磯辺 寛 (株) 日立製作所 ソフトウェア工場A I プログラム部副部長  
 1 市川 照久 三菱電機(株) 情報電子研究所知識処理開発部長  
 1 岩下 安男 N T T データ通信(株) 開発本部社会システム開発センター  
 /応用システムプロジェクト担当部長  
 2 大崎 幹雄 シャープ(株) 情報システム研究所第2開発部長  
 2 尾上 守夫 (株) リコー/取締役中央研究所長  
 1 河田 勉 (株) 東芝/総合研究所情報システム研究所主任研究員  
 2 川戸 信明 (株) 富士通研究所/人工知能研究部第一研究室長  
 2 北島 敬一 富士通エフ・アイ・ピー(株) システム本部次長兼技術開発部長  
 2 国藤 進 富士通(株) 国際情報社会科学研究所第二研究部第二研究室長  
 2 黒川 利明 日本アイ・ピー・エム(株) 東京基礎研究所  
 2 小泉 寿男 三菱電機(株) コンピュータ製作所所長室  
 1 河野 毅 (株) 東芝/システム・ソフトウェア技術研究所研究第1部長  
 1 小森 和昭 日本電信電話(株) 電気通信研究所宅内部長  
 1 後藤 敏 日本電気(株) C & C システム研究所応用システム研究部長  
 2 榊 博史 国際電信電話(株) 上福岡研究所知能処理研究室主幹研究員  
 1 佐藤 繁 (株) 富士通研究所取締役  
 2 志村 則彰 カシオ計算機(株) 取締役開発本部副本部長  
 1 下村 尚久 (株) 東芝/総合研究所次長  
 2 鈴木 則久 日本アイ・ピー・エム(株) 東京基礎研究所長  
 1 高木 朗 (株) C S K /技術開発本部MTプロジェクト部長  
 1 高橋 栄 (株) 日立製作所/ソフトウェア工場A I プログラム部長  
 1 竹下 亨 日本アイ・ピー・エム(株) 東京基礎研究所/理事  
 1 武田 学 (株) K D D テクノロジー  
 2 田中 庸平 中部電力(株) 総合技術研究所情報制御研究室長  
 1 棚橋 純一 (株) 富士通研究所/情報処理研究部門長  
 1 谷 友幸 日本デジタル・エクイップメント(株) 企画本部応用システム企画部  
 1 田畑 晃 富士通エフ・アイ・ピー(株) 専務取締役  
 1 塚本 克治 日本電信電話(株) ソフトウェア研究所ソフトウェア基盤技術研究部長  
 2 寺島 信義 日本電信電話(株) 情報通信処理研究所自然言語処理研究部長  
 2 戸田 巖 日本電信電話(株) 常務取締役研究開発技術本部長  
 1 戸田 保一 (株) 野村総合研究所/取締役  
 2 中島 昌也 松下電器産業(株) /取締役技術本部長



- 2 西島 誠一 (株) 東芝/システムソフトウェア技術研究所長
- 2 似鳥 一彦 沖電気工業(株) 研究開発本部総合システム研究所副所長
- 2 松浦 敏之 関西電力(株) 工務室研究開発部
- 2 松波 正巳 (株) 野村総合研究所/取締役技術本部長
- 1 真名垣昌夫 日本電気(株) 情報処理第一流通・サービスシステム事業部技師長
- 1 三木 弼一 松下電器産業(株) 情報システム研究所長
- 1 三雲 正夫 清水建設(株) 技術本部建築技術開発第1部長
- 2 南 正名 (株) 東芝/総合研究所情報システム研究所長
- 1 美濃 順亮 花王(株) 知識情報科学研究所所長
- 2 武藤 猛 日本デジタルイクイップメント(株)  
ソフトウェア本部A Iシステム部課長
- 1 村上 国男 日本電信電話(株) 情報通信処理研究所統括主席研究員
- 1 毛利 良男 富士通(株) 情報システム事業本部ソフトウェア開発推進統轄部長代理
- 2 元田 浩 (株) 日立製作所/基礎研究所主管研究員
- 2 森 健一 (株) 東芝/総合企画部次長
- 1 森 俊二 (株) リコー/中央研究所人工知能研究センター
- 1 森 文彦 (株) 日立製作所/システム開発研究所第5部主任研究員
- 2 柳生 孝昭 日本ユニシス(株) 取締役
- 2 山田 博 (株) 富士通研究所常務取締役
- 2 山本 英雄 国際電信電話(株) 研究開発部長
- 1 山本 正隆 沖電気工業(株) 取締役開発本部副本部長
- 1 米沢 啓明 日本生命保険相互会社/常務取締役総合法人営業第二本部長
- 1 渡辺 剛 日本石油(株) 工務部主任部員
- 2 渡辺 正信 日本デジタルイクイップメント(株) 常務取締役

(各分野ごとに五十音順)

以上